

(参考様式1-1)

農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
かほく市	令和5~8年

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業建設部産業振興課	076-283-7105	076-283-7108	sangyou@city.kahoku.lg.jp

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること。
- ・共同で作成する場合は、全ての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	気屋地区は人口の減少に伴う農家数の減少と荒廃農地の増加が懸念されたことから、県営ほ場整備事業(面的集積型)を平成28年から実施しR5年完了予定である。これを契機にいちじくを基軸に地域産物の直売、加工・販売と地区外からの交流活動を実施し地域の活性化を図る。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
滞在者数及び宿泊者数の増加	1,061人	当該施設における農産物の購入者数、農作業体験の体験者数から算出
第1評価指標の設定根拠		
<p>本事業で建設する施設において、当該地区で生産した米・いちじく・加工品等の直売を行うことや、年間を通じて様々な農作業体験を提供することにより、当該地区への入り込み客数の向上が期待できる。よって、本事業の目標として、施設における購買者数および体験者数により算出した滞在者数を数値目標として設定する。</p> <p>〈区域外からの交流人口目標(人)〉 【計画期間前】 R2:0人、R3:0人、R4:137人 平均46人 → 【計画期間内】 R6:827人、R7:1,038人、R8:1,455人 平均1,107人</p>		
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物の販売額の増加	3,762千円	法人の損益計算書の農産物売上金額から算出
第2評価指標の設定根拠		
<p>本事業により導入した施設において、交流人口を増加させるため、農産物の販売、加工品の製造・販売、農作業体験の実施を行うことにより、R6は2,873千円、R7は3,614千円、R8は4,799千円の販売額増加が見込まれることから、計画期間前の平均値に各年の販売額見込みを加えて試算した。</p> <p>〈販売額の目標〉 農産物売上 【計画期間前(千円)】 R2:30,269、R3:26,173、R4:30,375 平均:28,939 → 【計画期間内(千円)】 R6:31,812、R7:32,553、R8:33,738 平均:32,701</p>		
※販売金額の根拠につきましては、ファイル名「OR5.3.3【資料1】④販売計画(かほく市)事業実施計画第2評価指標根拠資料」を参照願います。		

第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
ホームページのアクセス数の増加	6,000アクセス	【現状値】0回 【目標値】ホームページのアクセス数 ホームページのカウント数により評価
<p>第3評価指標の設定根拠</p> <p>地域産物のPRを促進するためいいちくもぎ取り・直売や精米直売、イベント(フリージアアレンジメント教室、、セミナー、ホテル観賞会)や田植、稲刈などの農作業体験についてホームページを通じて広くPRする。 目標値 令和6年3,000 令和7年5,000 令和8年10,000</p>		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和6年4月～令和9年3月	令和9年	

Ⅲ 温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量削減目標の設定根拠

【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標

・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領別記3の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領別記3及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

温室効果ガス排出量削減目標・発電施設の整備を実施する場合に記載

※実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、I及びIIは記載不要。

V 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
中山間地農業ルネッサンス事業実施要綱第2に定める地域別農業振興計画に基づく施策	地域連携販売力強化施設	気屋地区	地域別農業振興計画において「中山間地域が活気づく取組を支援」と記載されており、本事業の目標である交流人口の増加と関連する。
	農林漁業・農山漁村体験施設	気屋地区	同上

【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

